

<研究名称>

地域高齢者の聴力低下の現状

ー地域包括支援事業でのタブレットオーディオメーターを用いた取り組みー

<実施責任者>

リハビリテーション 言語聴覚士 中澤 肇

<研究期間>

倫理審査委員会承認後から3年間

<研究の目的・意義>

タブレットオーディオメーターを用いた聴力検査を導入し、地域高齢者の聴力の現状や聴力検査導入の意義を考察した。地域高齢者には恐らく老人性難聴が存在し、老人性難聴が心身全般の健康と関わる、うつの発症率増加につながる報告があり、聴力検査により聴力を提示し、地域高齢者に警笛を鳴らすことは意義があると考えられる。日本言語聴覚士学会で発表する。

<実施内容（方法）等>

旭川市で地域包括支援の要請があった高齢者サークル5グループで、聴検のニーズがあった22名。タブレットオーディオメーターを用いた気道の聴検を実施し、4分法による難聴の重症度分類と各音域の比較をした。簡単なアンケートを実施しまとめる。

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 リハビリテーション 技師長 木村 和久

実施担当者 リハビリテーション 言語聴覚士 中澤 肇

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 リハビリテーション 中澤 肇

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648